

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	東北農政局津軽農業水利事務所	連絡先	0173-42-7211
所管する業務の概要	○国営かんがい排水事業岩木川左岸地区 頭首工、揚水機・用水路等の改修による農業用水の安定供給、排水機及び排水路の新設・改修による排水不良の改善（関係市町村：弘前市、五所川原市、つがる市、鶴田町） ○国営かんがい排水事業小田川二期地区 ダム、頭首工、揚水機場、幹線用水路等の改修による農業用水の安定供給（関係市町村：五所川原市、中泊町）		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
○ 8月に全職員に対し接遇マニュアルの説明を行うとともに、職員同士はもとより、工事現場の作業員、農家や地元関係者等にも積極的に挨拶・声掛けを励行し、丁寧・誠実・親切な対応を心がけている。	○ 今後も継続して行う。
○ 半年毎に全体会議を開催し、業務方針と業務分担を説明・確認するとともに、毎月管理職等で定例会を、さらに課毎に業務打合せを行い、進捗状況や課題を確認している。	○ 今後も継続して行う。
○ 職員の仕事・組織に対する使命感・意識高揚を図る指針として、「津軽農水七訓(現場組織の誇り)」を作成・掲示し、責任ある業務執行を目指している。 また、業務改革の基本姿勢として、「常識(前例)にとらわれずよく議論すること」、「報告・連絡・相談の徹底(特にマイナス情報を放置しない)」の2つを掲げて業務を遂行している。	○ 今後も継続して行う。

- 地元関係者等から照会・要望・苦情等があった場合は、十分内容を聞き取り、必ず打合せ記録を作成し、関係各課で共有するとともに迅速に対応策を打合せすることとしている。（重要な案件は、早く上司又は農政局に報告・相談。）
- 工事に係る説明会においては、直接の受益農家だけでなく関係地域住民にも参加いただくことにより、事業の理解を得ることに努めている。
- 管理職等は、事業実施の説明のみならず、農政改革の情報提供をあらゆる機会を活用して市町村等に行うこととしている。

- 今後も継続して行う。

2. 政策・事業等の企画立案・推進

・現在行っている取組や工夫

- 工事に係る説明会において出された意見・要望については、打合せ記録を作成し、関係各課で情報共有するとともに、迅速に対応策を検討している。（重要な案件は、早く上司又は農政局に報告・相談。）
また、事業を円滑・効率的に進めるため、常に関係各課で打合せを行い、課題に対する協議・調整等のスケジュール管理及び情報共有を図っている。
- 地元関係者の施策に対する動きや考え等を現場情報として定期的に農政局へ報告している。
- 工事に係る説明会においては、政策・事業目的の説明を行うとともに、大きな図面や写真、説明内容の要約を作成・使用してわかりやすい説明に努めている。

・点検によって得られた課題とその改善策

- 今後も継続して行う。
- 今後も継続して行う。
- 今後も継続して行う。

3. リスク管理	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
○ 報告・連絡・相談や関係各課での打合せを徹底し、問題として危惧される場合は、早く上司に上げて対応策を検討している。	○ 今後も継続して行う。
○ 地震等による施設災害、事故への対応マニュアルを整備し、不測の事態に対応している。 また、報道機関対応の窓口、連絡方法等の対応ルールも決めている。	○ 今後も継続して行う。 なお、連絡体制等の機能確認のため伝達訓練の実施を検討する。
○ 工事の設計・積算については、工事積算審査プロジェクトチームや各課で横並び・二重チェックを行いミスの防止に努めるほか、工事に係る説明会においては、過去に出された意見・質問を確認・分析し、事前に打ち合わせした上で臨み、ぶれのない的確な回答に努めている。	○ 今後も継続して行う。

4. その他の重要な取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
○ ほぼ毎月打合せを行い、業務の課題や進捗状況等について話し合い、情報を共有するとともに業務改善につなげている。	○ 今後も継続して行う。
○ 職員のモチベーション向上を図るため、自主的プロジェクト委員会を設けて、技術力アップや地域貢献活動を行っている。（今後さらにメニューを拡充） ① 所内研究発表会（農政改革の報告含む）	○ 今後も継続して行う。

- ② 地域イベントへの参加（清掃活動、祭り等）
- ③ 環境PR（貴重種の魚の生育展示）